

●式根島中学校の樹木リスト● ★は「新島村立式根島中学校 木のしおり」記載

2024年3月1日作成

式根島中学校で見られる樹木を記載しています。記載していない樹木を見付けたり、間違いを見付けたりしたときに更新すると、よりよいリストになりますので、御協力よろしくお願いします。

1 ネムノキ *Albizia julibrissin* (マメ科ネムノキ亜科の落葉樹) ★

場所：体育倉庫横

6月から7月にかけて、とてもきれいな花が咲きます。大変弱っている様子です。第10回生の記念樹です。

2 ビヤクシン *Juniperus chinensis* (ヒノキ科ビヤクシン属の常緑針葉樹) ★

場所：①校庭の南側と東側 ②校庭の東側の校舎に近い場所 ③校舎前、正門横 ④校舎北東側

式根島ではビヤクスギと呼ばれています。花粉症への影響は少ないようです。

①校舎の新築記念に校舎と校庭の間に植えましたが、1977年、現在の位置に移植されました。

②北東の風でも野球の練習に影響が無いようにと、1982年頃にPTAの方が苗を植えて、今は防風林の役目を果たす大きさになっています。

③ビヤクシンを丸く剪定したものです。1981年修学旅行の帰りに生徒が2本ずつ竹芝棧橋から持ってきたものです。1982年と1983年の卒業生が、まだ芝生がなく、校舎が砂漠の中にあるように見えた頃に緑で囲もうとして植えられたものです。

④1977年の校舎移転のときに植えました。

3 ハイネズ *Juniperus conferta* (ヒノキ科ビヤクシン属の常緑針葉低木)

場所：池の前

式根島ではジハイスギと呼ばれています。1981年冬に、1981年度の卒業生と先生が植えられたもので、神引から移植しました。校庭まで伸びてきました。

4 オオシマザクラ *Cerasus speciosa* (バラ科サクラ属の落葉広葉樹) ★

場所：①校庭西側 ②校庭南側、校舎西側 ③体育館前、校舎前の防球ネット裏 ④体育館前・体育館裏

式根島ではシマザクラと呼ばれています。葉は桜餅の皮として利用されています。3月下旬に開花します。

①昭和40年代にやっと実をつけるくらいの大きさでしたが、今では式根島でも有数の並木になっています。6のクロマツと一緒に植えられました。

②校長室横の大きな桜がシロアリにやられたとき、「やはり学校には桜だね。」という地域の人々の声を聞いて植えたものです。冬にカイガラムシの除去が必要です。

③八重桜は、八重咲きに花を付けるサクラの総称です。4月上旬に開花します。体育館新築の時に植えられましたが、風当たりが強いのあまり大きくなっていません。ネット裏の八重桜は東側土手から移植されたものです。

④カワツザクラが体育館前に2本、体育館裏に3本あります。2月上旬に開花します。カワツザクラはオオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑から生まれた栽培品種です。

5 クロマツ *Pinus thunbergii* (マツ科マツ属の常緑針葉樹) ★

場所：①校庭西側 ②校庭東側、校舎北側、体育館前 ③校舎北東側

式根島ではマツと呼ばれています。昔はマツヤニを取り、燃料にしていました。

①昭和30年代の後半に植えられたものです。

②野生種が大きくなったものです。

③1977年の校舎移転のときに植えました。

6 カラタネオガタマ *Magnolia figo* (モクレン科モクレン属に属する常緑広葉樹)

場所：校庭南西側、職員室前、プールサイド

とても良いにおいの花です。黄色と紫色の花があり、黄色の方が良い香りがします。

7 ツバキ (ヤブツバキ) *Camellia japonica* (ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹) ★

場所：校庭西側、池の前、プールサイド

冬に真っ白な花、真っ赤な花や白と赤の混ざった花が咲きます。小さい木です (80~180cm 位)。式根島のツバキの多くは実を取るために植林されたものです。

8 ツツジ *Rhododendron* (ツツジ科ツツジ属、学校にあるのは常緑広葉樹) ★

場所：池の前、体育館前、正門横

4~5 月に白、桃色、赤の花を咲かせます。体育館と校舎の新築記念に植えられました。上手に採ると花片の下から蜜を吸うことができますが、有毒成分が含まれるので注意が必要です。

9 サザンカ *Camellia sasanqua* (ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹) ★

場所：事務室前

校舎前を冬に咲く花を觀賞するために、植えられました。

10 ザクロ *Punica granatum* (ミソハギ科ザクロ属の落葉広葉樹)

場所：体育倉庫横

1980 年の中学 1 年生が「学校に美味しい実のなる木を植えたい。」という願いで植えたものです。

11 マルバグミ *Elaeagnus macrophylla* (グミ科グミ属の常緑広葉樹)

場所：体育倉庫横、プールサイド

ザクロと同じ理由で植えられたもので真っ赤な実を付けます。

12 バラ *Rosa* (バラ科バラ属、学校にあるのは常緑広葉樹)

場所：校長室前

校舎改築と体育館改築のために 2 回移植されましたが、きれいな花が咲くバラです。

13 アボカド *Persea americana* (クスノキ科ワニナシ属の常緑広葉樹)

場所：事務室前、保健室前

健康食品として有名になった際、たくさん食べた先生がその種を植えたものです。

14 モッコク *Ternstroemia gymnanthera* (モッコク科モッコク属の常緑広葉樹) ★

場所：プールサイド

プールの中の道路側に生け垣用に植えた樹木です。2003 年~2005 年の卒業生が植えました。

式根島では赤木の木と呼ばれています。木は建材や櫛 (くし) などの木工品の素材として用い、皮は染料用としてエビ網を染めていました。

15 タラノキ *Aralia elata* (ウコギ科の落葉広葉樹) ★

場所：校舎東側、校舎裏

自然の味覚を楽しみたいと思った先生が、体育館裏に植えました。タラの芽は山菜の王様と言われています。伊豆諸島が一番早く採れ、3 月初旬に芽吹き、初物として高値で取引されています。

16 タイサンボク *Magnolia grandiflora* (モクレン科モクレン属の常緑広葉樹) ★

場所：校舎西側

式中開校 50 周年に植えられたニオイの良い白い大きな花が咲きます。

17 ソテツ *Cycas revoluta* (裸子植物のソテツ科ソテツ属の常緑樹) ★

場所：体育館前、プールサイド、プール横

体育館落成の時に植えられました。

18 ヤタイヤシ *Butia yatay* (単子葉類のヤシ科ブラジルヤシ属の常緑樹)

場所：体育館前

別名はココスヤシで、1982年頃、当時の校長が大島高校よりもらってきました。時々おいしい実がなります。

19 フジ *Wisteria floribunda* (マメ科フジ属のつる性落葉広葉樹) ★

場所：池の上

別名：はノダフジで、校舎移転のときに現在の位置に移植しましたが、元気がありません。

20 ムベ *Stauntonia hexaphylla* (アケビ科ムベ属のつる性常緑広葉樹)

場所：プールサイド、池の前

トキワアケビ、ウベなどと呼ばれます。プールサイドから移植しました。赤い実ができます。

21 エノキ *Celtis sinensis* (アサ科エノキ属の落葉広葉樹) ★

場所：職員室前、体育館裏

花壇に野生種が生えてきたが、日陰をつくるためにパラソル形状に勢定しました。漢字の「榎」は夏に日陰を作る樹を意味します。

22 ハイビスカス *Hibiscus kokio* (アオイ科フヨウ属の常緑広葉樹)

場所：保健室前、体育館前

1980年に新入生が教室で栽培していたものが成長して大きくなったので、花壇に植えられました。数回の台風で枝が折れてしまい、体育館前のハイビスカスは、これを挿し木にしたものです。ハイビスカスは元々、式根島に自生していなかったのですが、沖縄から移住してきた方が持ってきたものが始まりです。

23 シャリンバイ *Raphiolepis indica var. unbellata* (バラ科シャリンバイ属の常緑広葉樹) ★

場所：正門横、校舎前

1977年の校舎移転のとき、当時の先生が森から取ってきたものを植えました。式根島ではセーマと呼ばれています。花は梅に似て、葉が丸くそろって車輪に似ているので「シャリンバイ」といいます。

24 モチノキ *Ilex integra* (モチノキ科モチ属の常緑広葉樹) ★

場所：プールサイド

式根島ではモチン木と呼ばれています。樹皮からトリモチを作ることができます。

25 タブノキ *Machilus thunbergii* (クスノキ科タブノキ属の常緑広葉樹) ★

場所：校舎裏側

建材に利用されるほか、八丈島に伝わる草木染めの絹織物である「黄八丈」の「樺色(かばいろ)」「赤みのある橙色(だいだいいろ)」の染料にもなります。

26 トベラ *Pittosporum tobira* (トベラ科トベラ属の常緑広葉樹)

場所：池の前、正門横、校舎裏側

式根島ではトピラン木と呼ばれています。強い匂いがあるため、海難法師の厄除けに使います。鬼除けの扉がなまって「トベラ」になりました。

27 ハチジョウグワ *Morus kagayamae* (クワ科クワ属の落葉広葉樹)

場所：校舎裏側、プールサイド

式根島では桑の木と呼ばれています。葉を摘んで蚕のエサにするため、昔は現金収入を得るためにどこの家でも蚕を飼っていました。

28 ユズリハ *Daphniphyllum macropodum* (ユズリハ科ユズリハ属の常緑広葉樹) ★

場所：校舎北東側

式根島ではイズン木と呼ばれています。神社のしめ飾りや正月の鏡餅の飾りに使われています。若葉が芽吹くと

すぐ大葉が落ちるので、「親から子へ、子から孫へ譲りながら栄えて行くこと」を願ってユズリハを飾ります。

29 メダケ *Pleioblastus Simonii* (単子葉類のイネ科メダケ属、多年生常緑の笹)

場所：校舎東側

別名はニガ竹と言います。現在、式根島に自生している竹の種類はメダケ、ハウライチク、ネマガリダケの3種類です。

*ハウライチク：式根島ではポチン竹と呼ばれています。中国原産の竹の一種であり、神社でよく見られる竹であり、都道、神社周辺で観察できます。

*ネマガリダケ：地鉦方面にだけ自生していて、3種類のうち食べられるのはこの竹だけです。

30 イヌマキ *Podocarpus macrophyllus* (裸子植物のマキ科マキ属の常緑針葉樹) ★

場所：校庭西側、プールサイド、プール横

実は甘くて食べられます。庭木や生垣、防風林とされることがあり、材木として利用されています。

31 ミツバアケビ *Akebia trifoliata* (アケビ科アケビ属のつる性落葉広葉樹) ★

場所：校舎裏側

つる、葉、根や果実には薬草としての効果があると言われ、葉、果実や若芽は食用にします。観賞用として庭木や盆栽に仕立てられます。成熟したつるは、籠を編むなどして工芸品の素材として利用されています。

※「木のしおり」にはゴヨウアケビが記載されています。

32 ガクアジサイ *Hydrangea macrophylla* (アジサイ科アジサイ属の落葉広葉樹) ★

場所：プール横、校舎北東側、校舎裏側

式根島で見られるのはガクアジサイです。狭義のアジサイ(ホンアジサイ)は、日本における原種のガクアジサイを改良した園芸品種です。

※「木のしおり」にはホンアジサイが記載されています。

33 ブルーベリー *Vaccinium* (ツツジ科スノキ属の落葉広葉樹) ★

場所：職員室前

ブルーは果実の青紫色、ベリーは「小さな実」を意味しています。

34 ネズミモチ *Ligustrum japonicum* (モクセイ科イボタノキ属の常緑広葉樹) ★

場所：校舎北東側

紫黒色に熟した果実がネズミの糞を連想させ、全体がモチノキに似ています。暖地に自生しやや寒さに弱く観賞価値は低いが、潮風に強く、安価かつ劣悪な土壌でも生育できることから、防風樹や生け垣として利用されています。

35 キダチアロエ *Aloe arborescens* (ツルボラン科アロエ属の多年草または低木または高木となる多肉植物)

場所：校長室前

観賞用として利用されるほか、「医者いらず」と言われるほど薬効がある植物として有名です。冬に朱色の花が咲き、花茎は数cmから1mまで伸びます。

36 サカキ *Cleyera japonica* (モッコク科サカキ属の常緑広葉樹)

場所：校舎北東側、プールサイド

名前の由来は、神と人との境の意味であると言われています。日本では、葉が神棚や祭壇に供えるなどの神事に用いられます。

37 ウメ *Prunus mume* (バラ科サクラ属の落葉広葉樹)

場所：校長室前、事務室前

1990年頃に植えられましたが、花が咲きません。未熟な実は有毒であるが、梅干などに加工して食用になります。2020年頃に枯れてしまい現在はありません。

38 マサキ *Euonymus japonicus* (ニシキギ科ニシキギ属の常緑広葉樹)

場所：校舎北東側

海岸近くの林に生育します。生け垣や庭木としてもよく用いられ、園芸種が沢山あります。

39 ニオイパンマツリ *Brunfelsia latifolia* (ナス科ブルンフェルシア属の常緑広葉樹)

場所：校長室前

紫の花が数日で白に変わる珍しい花です。名前の通りよい匂いがします。

40 モチウパメガシ *Quercus phillyraeoides* (ブナ科コナラ属の常緑広葉樹)

場所：プールサイド、プール横

硬い葉を持つカシである。海岸や岩場に多く、乾燥や刈り込みに強いことから街路樹として使われています。また、材は密で硬いので、備長炭の材料になります。

41 スモモ *Prunus salicina* (バラ科サクラ属の落葉広葉樹)

場所：職員室前

スモモの果実はモモに比べて酸味が強いことが名前の由来になっています。4月頃に白い花が咲き、夏に赤い実を食べることができます。

42 ジンチョウゲ *Daphne odora* (ジンチョウゲ科ジンチョウゲ属の常緑広葉樹)

場所：校長室前

クチナシ、キンモクセイとともに、日本の三大芳香木の一つです。果実や樹皮に有毒成分を含むので注意が必要です。

43 オリーブ *Olea europaea* (モクセイ科オリーブ属の常緑広葉樹)

場所：プール横

果実は油分を多く含み、オリーブ・オイルの原料です。

44 シラカシ *Quercus myrsinifolia* (ブナ科コナラ属の常緑広葉樹)

場所：プール横

防風林、生垣、公園樹、街路樹、庭木などに使われています。薪や木刀の材料になります。

45 ミカン *Citrus* (ミカン科ミカン属の常緑広葉樹)

場所：プールサイド

ウンシュウミカン、ナツミカン、ユズやレモンなどがこの属に属します。

46 イヌツゲ *Ilex crenata var. crenata* (モチノキ科モチノキ属の常緑広葉樹)

場所：プールサイド

花は6、7月頃に白い小さな花が咲き、果実は秋に黒く熟します。名前に「ツゲ」が付きますが、ツゲ(ツゲ科)とは別の植物です。変異が多いです。生け垣や庭木に使われています。

47 アカメガシワ *Mallotus japonicus* (トウダイグサ科アカメガシワ属の落葉広葉樹)

場所：プールサイド

春にでる若葉が目立つ紅色をしてのが名前の由来です。

48 イヌビワ *Mallotus japonicus* (クワ科イチジク属の落葉広葉樹)

場所：プールサイド

果実がビワの実に似ていて食べられるが、ビワに比べ美味しくないことからこの名前が付いています。

補足

1 シュロ *Trachycarpus* (単子葉類のヤシ科シュロ属の常緑樹) ★

場所：式根島中学校の敷地内にはありません。島内にあります。

庭園で装飾樹として利用され、樹皮の繊維が厚いので、シュロ縄として古くから利用されています。1983年頃、地域の方の庭からもらったものです。校長室の前にはありましたが、現在はありません。

2 スダジイ *Castanopsis sieboldii* subsp. *Sieboldii* (ブナ科シイ属の常緑広葉樹)

場所：式根島中学校の敷地内にはありません。校庭東側の土手の上にあります。

式根島ではシイと呼ばれています。普通、シイという場合はスダジイのことを表します。暖地の海岸近くの山野に生えますが、庭や公園、街路樹にも植えられます。果実は食べられます。新島では太いスダジイで、シイノトモシビタケという夜光茸がたくさん見付かりました。(クロマツとスダジイの2種類の樹木は式根で一番多く自生しています。出逢い橋から神引展望台の方向を観察するとよく解かります。)

3 オオムラサキシキブ *Callicarpa japonica* var. *luxurians* (シソ科ムラサキシキブ属の落葉広葉樹)

場所：式根島中学校の敷地内にはありません。体育館裏の土手の上にあります。

果実が紫色で美しいので観賞用に栽培されています。名前の由来は、紫色に熟す重なり合った実を紫重実(むらさきしきみ)と呼び、平安時代の女性作家である紫式部に例えたものだというのが通説です。

4 シバ *Zoysia* (イネ科シバ属の多年性草本)

場所：校庭

1981年の卒業生が卒業記念に当時の学校の警備員から伊能忠敬ゆかりの芝を100枚ほどもらい、校舎前に2列に植えたのが始まりです。それが伸びたものを切り取り、トラック150mのラインを作り、その中を全て芝でうめ、次にその周りも増やしていき、現在の形になりました(現在のトラックは160mです)。高麗芝(コウライシバ *Z. pacifica*)が主でノシバ等が混ざっている可能性があります。

5 アシタバ *Angelica keiskei* (セリ科シシウド属の多年性草本)

場所：体育倉庫横、校舎裏側

主に暖地の海岸沿いの林縁に自生し、湿度の高い日陰や砂地や岩の割れ目などに生えています。明日葉とは、比較的暖かい地域で採れ、葉を摘んでも、明日には新しい葉が出るほど強く、成長が速いということでこの名が付きました。式根島には明日葉が道の端に沢山生えていて、式根島では明日葉を使った料理をたくさん食べられます。明日葉の茎には粘性のある「カルコン」という黄色い物質があり、服に付くと落ちなくなります。

6 ハマユウ *Grinum asiaticum* (ヒガンバナ科ハマオモト属の多年性草本)

場所：校長室前

水はけが良く日あたりの良い場所を好み、主に温暖な海浜で見られます。夏に花が咲き、葉の間の真ん中から太くて真っすぐな茎を上へ伸ばし、先端に多数の花を散形に付けます。優しく、淡い香りが特長です。